

科目・コース（ユニット）名：人文・社会科学 芸術と文化 映像論
英語名称：Film Studies

【担当責任者】安孫子亘(映画監督)、星賢孝(郷土写真家)、伊関憲（救急医療学講座）

【開講年次】1年, 【学期】後期【必修／選択】選択必修

【授業形態】講義

【概要】

映像制作・映画製作の制作現場最前線から見てくるモノを映画監督安孫子亘に聴く。安孫子監督は2011年3月11日の福島原発事故を契機に福島県に拠点をおき、ドキュメンタリー映画を製作し続けている。世界中で野生動物を撮影してきた創造性と心眼力は、震災後に世の中を変えようとする人たちにレンズを向けた。その作品を鑑賞し、その制作過程にも接する絶好の時間を過ごす事となる。

【学習目標】

- 教科書を超えた想定外の対処にセンスと想像力を求められる世界を感じることができる。
- 映画作成において何が起きても動じない対処力は、積み重ねられた経験の賜物である。一瞬先に何が起きるかわからないドキュメンタリーの現場にその心理合戦の結末を経験できる。

【教科書】

指定しない。

【参考映画】

講義の中で随時紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は、1) 授業態度、2) レポートに基づいて行います。

出席については規定に基づき、原則として2／3以上の出席を要する。

【垂直的統合授業の実施内容】該当なし

【水平的統合授業の実施内容】該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

震災後のドキュメンタリー映画を鑑賞する。

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

伊関憲：救急医療学講座

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2026/9/2	水	3	(講) 映画について	安孫子亘、ほか
2-4	2026/11/10	火	1-3	(講) 映画鑑賞	安孫子亘、ほか
5-7	2026/11/17	火	1-3	(講) 映画鑑賞	安孫子亘、ほか
8-10	2026/11/24	火	1-3	(講) 映画鑑賞	安孫子亘、ほか
11-13	2027/1/12	火	4-6	(講) 映画鑑賞	安孫子亘、ほか
14-15	2027/1/21	木	5-6	(講) 映画鑑賞	安孫子亘、ほか

11／10、11／17、11／24：映像論選択者は医療入門 A（エスコート実習）が入らないようにしてある。

【担当教員】

教員氏名	職	所属
安孫子亘	映画監督	ミルフィルム
星賢孝	郷土写真家	
伊関憲	主任教授	救急医療学講座